

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 愛知県岡崎市
本事業の担当部局名 こども部こども育成課

事業メニュー		結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進					
個別事業名		子育て施策課題解決業務				新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和5年度
総事業費(A)(円)		3,874,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 3,874,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		3,874,000					
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	3,874,000	0	0	0		3,874,000
	対象経費支出予定額	3,874,000	0	0	0		3,874,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け		＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通 岡崎市では、「第2期岡崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に「未来のひとづくり」を掲げており、3世代の同居・近居率の高さ、西三河製造業勤務世帯の多さなど、本市の特性を踏まえ、安心して楽しみながら子育てできるまちを目指している。				
＜本個別事業の位置付け＞ 誰もが安心してこどもを産み、子育てに夢や希望を持つことができる社会の実現を目指し、「岡崎市こども計画」を策定しており、基本施策「子育て環境をつくる」の「ワーク・ライフ・バランスの実現」において父親の育児・家事参加を推進している。また、男女を取り巻く問題を解決し、男女共同参画社会の実現を目指し、「ウィズプランおかざき」を策定しており、本事業を「仕事と家庭の両立支援の推進」における事業として位置付けている。							

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	子育て施策課題解決業務(ワーキングベアレンツ支援事業)	R4～7に行った市民参加型子育てイベント等において市民から集まった子育て施策課題(男性の家事・育児参画に対する考え方について、男性と女性で差がある点等)について、解決を図る業務。主に父親を支援する施策を展開することで、共働き世帯もしくは共働きを希望する世帯を支援する施策を展開する。具体的には、以下を実施する。 ①男性の家事・育児参画を推進するセミナー「おかざきパパマイスター養成講座」の実施 ・内容:男性が楽しみながら主体的に家事・育児に取り組むことができるようになるセミナーを、連続4回開催。 ・参加予定者数:200人(50人×4回) ・対象:主に小学校低学年以下のこどもがいる(妊娠中も可)父親及び母親 ・周知:チラシ配布(14,000枚)、市ホームページ、市広報誌、SNS(インスタグラム、エックス(旧_ツイッター)、LINEなど) ②父親のコミュニティ作り ・内容1:①のセミナー参加者のコミュニティ作り。セミナー内で座談会を設け、互いの情報交換を積極的に行える環境づくりを行う。また、LINEを活用したコミュニティ運営も行う。 ・内容2:①のセミナーで習得した父親の家事・育児スキルを披露する場として、前年度受講生を主体とした、市内公園におけるパパのコミュニティ作り事業を年4回開催。パパ同士(受講生及び公園利用者)が繋がることで、育児における不安や負担解消に繋げるとともに、市内の男性の家事・育児参画推進の気運作りに繋げる。 ・参加予定者数(父親の数):120人(30人×4回) ・周知:チラシ配布(14,000枚)、市ホームページ、市広報誌、SNS(インスタグラム、エックス(旧_ツイッター)、LINEなど) ③高等学校における出張授業 ・内容:市内の高等学校の生徒を対象に、男性の家事・育児参画について啓発(教育)する授業を年1回開催する。 ④本市独自の父子手帳の作成及び事業広報について ・内容1:本市の情勢に適合した父子手帳を作成し、配布する ・配布:母子健康手帳交付時等(3,000部) ・内容2:本業務を市内外により広く周知するため、受託者制作のホームページで受託者が編集した記事を広報することで、本市の男性の家事・育児参画推進の気運作りに一層取組む。
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・R7に実施した子育て世帯向けアンケートにおいて、家事・育児の情報収集や相談は主に夫婦間で行われており、SNS等で調べる内容は「レシピ」や「ケガ病気関連」が上位となっていることが判明。R8のセミナーでは、夫婦のコミュニケーションやパートナーシップ向上、料理の心構えやケガ・事故防止をテーマに講義を行う予定。 ・本事業の周知方法について、更なる集客を図るため、母子健康手帳交付時や健康診査時、市内子育て関連施設への配架、子育て家庭向けのSNS発信ツールでの配信等を実施予定。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	社会増減(令和3年度から令和7年度における5年平均の転入超過数)		人	330(令和3～令和7年度平均)	317(平成23～令和2年度平均)

参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.33(R5年)	
	婚姻件数		件	1658(R5年)	
	婚姻率			4.5(R5年)	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	「おかざきパパマイスター養成講座」の参加者数(当事者数、人/年)	人	180(R8年度)	177(R6年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	100(R6年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100(R8年度)	100(R6年度)
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				